

2021年度

東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験
試験内容及び課題曲

(この冊子は表紙を含め全46ページ)

※発表した課題曲の内容等についての電話等による問い合わせには応じない。
 ※本冊子記載事項に訂正があった場合は、その都度本学ホームページで発表する。

声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので、参考までに記載する。

【 略 記 - 覧 】

専攻・声種・楽器名	略記	専攻・声種・楽器名	略記		
作曲	/	ホルン	Hr		
声乐	ソプラノ	トランペット	Tp		
	アルト	テナー・トロンボーン	TTb		
	テノール	バス・トロンボーン	BTb		
	バス	ユーフォニアム	Euph		
器楽	ピアノ	チューバ	Tu		
	オルガン	打楽器	Pc		
	弦	ヴァイオリン	古楽	バロック声楽	BVo
		ヴァイオラ		バロックヴァイオリン	BVn
		チェロ		バロックチェロ	BVc
	楽	コントラバス		リコーダー	Rec
		ハープ		チェンバロ	Cemb
		フルート		バロックオルガン	BOrg
	楽木	オーボエ		フォルテピアノ	FP
		クラリネット	指揮	/	
ファゴット		邦楽	/		
楽管	サクソフーン	楽理	/		
		音楽環境創造	/		

○ 略記の表現について

1. 原則として、2字以内にまとめた。
2. 科目名等は、日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。

「2021年度学部・別科 学生募集要項」の公表について

1. **公表時期** 2020年12月上旬
2. **公表方法** 本学入試情報サイト (<http://admissions.geidai.ac.jp/>) 上で公表する。

試験内容及び試験曲

①専攻実技等

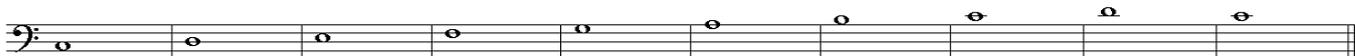
第1回、第2回試験は共通試験となるが、第3回試験は専攻によって（作曲専攻、エクリチュール専攻）試験内容が異なるので注意すること。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
作曲	エクリチュール専攻	第一回	与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作る。 (各3時間)
		第二回	(1) 厳格対位法：与えられた定旋律による3声華麗対位法と混合類各1題を作る。(3時間) (2) 与えられたコラール旋律により、バッハ様式で4声コラール1題を作る。 (2時間) (計5時間)
		第三回	<p><作曲専攻> 与えられた主題、指定された形式(*), 編成により楽曲を完成する。なお楽器編成は下記から指定する。 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ (8時間。ただし、途中昼食休憩の1時間を別に設ける。) *変奏曲、ロンド、ソナタ等の形式 ※形式及び楽器編成については当日指定する。</p> <p><エクリチュール専攻> (1) 総譜初見視奏と移調奏 (2) ピアノによる数字付き低音の和声付け (3) 楽器奏者の演奏する旋律課題のピアノ伴奏付け</p>

【例題】

1. 厳格対位法

- 次の定旋律（バス譜表）上に、テノール、アルト、ソプラノいずれかの音部記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。
それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。
尚、定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



- 次の定旋律（ソプラノ譜表）を高声部として、3声の華麗対位法を作成せよ。
尚、対旋律は、バス、テノール、アルトのいずれかの音部記号を用いること。
定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



2. コラール

次のコラール旋律をバス、テノール、アルト記号を用いて、四声体で作成せよ。

Choral



科	声 種	試 験 内 容 及 び 試 験 曲	
声 楽	ソ プ ラ ノ (S) ア ル ト (メゾソプラを含む) (A)	第 一 回	<p>【課題選択曲】 志願者は、次のページに記載する課題選択曲の中から以下により合計8曲を選択すること。</p> <p>A. 日本歌曲 4曲 B. 外国曲 4曲 (外国曲〈イタリア, ドイツ, フランス〉のグループに関係なく自由に選択して良い。)</p> <p>志願者の選択した8曲の中から、本学が4曲 (A. から2曲, B. から2曲) を試験当日に指定する。志願者は、その4曲の中から2曲 (A. から1曲, B. から1曲) を選び、暗譜で演奏する。</p>
	テ ノ ー ル (T) バ ス (バリトンを含む) (B)	第 二 回	<p>【自由曲】 任意の声楽曲1曲を暗譜で演奏する。 ただし、第1回の課題選択曲として選択した曲を第2回の自由曲として選ぶことはできない (従って、次のページに記載された曲であっても、課題選択曲として選択しなかった曲を自由曲として選んで良い)。</p>
		第 三 回	<p>(1) F. Wüllner : Chorübungen I (全訳) (抜粋及び省略本は不可) の中から、試験の際に指定される曲を演奏する。</p> <p>(2) 新曲視唱</p> <p>(3) リズム課題</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器 鍵 盤 楽 器		ピ ア ノ (P f)	第 一 回	<p>a) Beethoven : ピアノソナタより任意の1曲を選択し提出する。 b) Chopin : 練習曲 Op.10 及び Op.25 より任意の2曲を選択し提出する。 ※ a) については、第1楽章を演奏する。ただし、次の作品については、第1楽章と第2楽章を演奏する。Op.27-1, Op.27-2, Op.101, Op.109 b) については、当日各自の抽選により1曲を演奏する。</p> <p>I) 演奏は、すべて暗譜とする。 II) 8小節までの繰り返しは自由とする。それ以外の繰り返しは省略する。 III) 当日、時間の都合により一部を省略させる事がある。 IV) 曲順は、各自の自由とする。</p>
			第 二 回	<p>a) Beethoven : 第1回で選択したピアノソナタより、第1回で演奏しなかった楽章(第2楽章以降)を演奏する。ただし次の作品については、第3楽章以降を演奏する。Op.27-1, Op.27-2, Op.101, Op.109 b) 下記の作曲家群から1曲以上を選択する。ただし演奏時間は10分以上とする。 Schubert, Weber, Mendelssohn, Chopin, Schumann, Liszt, Brahms ただし、Chopin は練習曲以外の作品を演奏すること。 c) 下記の作曲家群から1曲以上を選択する。 Fauré, Debussy, Ravel, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók ただし、Debussy, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók については、練習曲以外の作品を演奏すること。 ※ b) と c) を合わせて15分以上になるように、プログラムを組むこと。</p> <p>I) 演奏は、すべて暗譜とする。 II) 本年度は追加の課題曲は課さない。 III) 8小節までの繰り返しは自由とする。それ以外の繰り返しは省略する。 IV) b), c) については、ソナタ・組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めない。 V) 当日、時間の都合により一部を省略させる事がある。 VI) 曲順は、a), b), c) の順とする。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲																																																												
器 鍵 盤 楽 器	オルガン (Org)	<p>専攻実技試験で使用するオルガンの仕様</p> <table border="0"> <tr> <td><u>Pedal</u></td> <td></td> <td>13. Krummhorn 8'</td> <td>26. Nasard 2$\frac{2}{3}$'</td> </tr> <tr> <td>1. Subbass 16'</td> <td></td> <td>14. Tremulant</td> <td>27. Superoktav 2'</td> </tr> <tr> <td>2. Principalbass 8'</td> <td></td> <td>15. I/P</td> <td>28. Mixtur 4f</td> </tr> <tr> <td>3. Rohrpommer 8'</td> <td></td> <td>16. II/P</td> <td>29. Trompete 8'</td> </tr> <tr> <td>4. Choralflöte 4'</td> <td></td> <td>17. III/P</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. Piffaro 2f</td> <td></td> <td>18. III/I</td> <td>(III) Schwellwerk</td> </tr> <tr> <td>6. Dulcian 16'</td> <td></td> <td>19. I/II</td> <td>30. Rohrflöte 8'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20. III/II</td> <td>31. Salicional 8'</td> </tr> <tr> <td><u>(I) Brustwerk</u></td> <td></td> <td><u>(II) Hauptwerk</u></td> <td>32. Vox coelestis 8'</td> </tr> <tr> <td>7. Holzgedackt 8'</td> <td></td> <td>21. Quintade 16'</td> <td>33. Principal 4'</td> </tr> <tr> <td>8. Spillpfeife 4'</td> <td></td> <td>22. Principal 8'</td> <td>34. Blockflöte 2'</td> </tr> <tr> <td>9. Principal 2'</td> <td></td> <td>23. Gemshorn 8'</td> <td>35. Sesquialtera 2f</td> </tr> <tr> <td>10. Terz 1$\frac{3}{5}$'</td> <td></td> <td>24. Oktav 4'</td> <td>36. Scharff 3f</td> </tr> <tr> <td>11. Oktav 1'</td> <td></td> <td>25. Holztraverse 4'</td> <td>37. Hautbois 8'</td> </tr> <tr> <td>12. Cymbel 3f</td> <td></td> <td></td> <td>38. Tremulant</td> </tr> </table> <p>[演奏補助装置] Handregister+2 Freie Kombinationen, Zungen ab, Mixtur ab (Klais社製)</p>	<u>Pedal</u>		13. Krummhorn 8'	26. Nasard 2 $\frac{2}{3}$ '	1. Subbass 16'		14. Tremulant	27. Superoktav 2'	2. Principalbass 8'		15. I/P	28. Mixtur 4f	3. Rohrpommer 8'		16. II/P	29. Trompete 8'	4. Choralflöte 4'		17. III/P		5. Piffaro 2f		18. III/I	(III) Schwellwerk	6. Dulcian 16'		19. I/II	30. Rohrflöte 8'			20. III/II	31. Salicional 8'	<u>(I) Brustwerk</u>		<u>(II) Hauptwerk</u>	32. Vox coelestis 8'	7. Holzgedackt 8'		21. Quintade 16'	33. Principal 4'	8. Spillpfeife 4'		22. Principal 8'	34. Blockflöte 2'	9. Principal 2'		23. Gemshorn 8'	35. Sesquialtera 2f	10. Terz 1 $\frac{3}{5}$ '		24. Oktav 4'	36. Scharff 3f	11. Oktav 1'		25. Holztraverse 4'	37. Hautbois 8'	12. Cymbel 3f			38. Tremulant
		<u>Pedal</u>		13. Krummhorn 8'	26. Nasard 2 $\frac{2}{3}$ '																																																									
		1. Subbass 16'		14. Tremulant	27. Superoktav 2'																																																									
		2. Principalbass 8'		15. I/P	28. Mixtur 4f																																																									
3. Rohrpommer 8'		16. II/P	29. Trompete 8'																																																											
4. Choralflöte 4'		17. III/P																																																												
5. Piffaro 2f		18. III/I	(III) Schwellwerk																																																											
6. Dulcian 16'		19. I/II	30. Rohrflöte 8'																																																											
		20. III/II	31. Salicional 8'																																																											
<u>(I) Brustwerk</u>		<u>(II) Hauptwerk</u>	32. Vox coelestis 8'																																																											
7. Holzgedackt 8'		21. Quintade 16'	33. Principal 4'																																																											
8. Spillpfeife 4'		22. Principal 8'	34. Blockflöte 2'																																																											
9. Principal 2'		23. Gemshorn 8'	35. Sesquialtera 2f																																																											
10. Terz 1 $\frac{3}{5}$ '		24. Oktav 4'	36. Scharff 3f																																																											
11. Oktav 1'		25. Holztraverse 4'	37. Hautbois 8'																																																											
12. Cymbel 3f			38. Tremulant																																																											
第 一 回	<p>(A) J. S. Bach “Orgelbüchlein”より次の曲から当日指定する。 BWV600, BWV603, BWV605, BWV607, BWV611, BWV616, BWV618, BWV620, BWV622, BWV625, BWV626, BWV627, BWV633, BWV636, BWV643</p> <p>(B) D. Buxtehude : Präludium in a, BuxWV153</p>																																																													
第 二 回	<p>[第二回]</p> <p>(A) J. S. Bach: Präludium und Fuge in G-Dur BWV541</p> <p>(B) F. Mendelssohn-Bartholdy: Sonate No.6 op.65-6 d-moll より 第1楽章</p>																																																													
<p>(注1) 第一回(B)の D. Buxtehude : Präludium in a, BuxWV153 は暗譜演奏とする。</p> <p>(注2) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある</p> <p>(注3) 各課題曲のレジストレーションについては、レジスタータイムに標準的なものを大学側が示すので、適宜参考にしてもよい。</p>																																																														

科

専攻
(声種・楽器等)

試験内容及び試験曲

弦

ヴァイオリン
(Vn)

楽

楽

第一
回

- (A) 音階
カール・フレッシュ:スケール・システム(Carl Flesch: Scale System)より
ホ短調(e-moll)で、次のイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘの各種を下記を参照し、
譜例の通り演奏すること。
- (イ) 音階、分散和音、分散3度、半音階
- (ロ) 3度の重音
- (ハ) 6度の重音
- (ニ) 8度の重音
- (ホ) フィンガード・オクターヴ
- (ヘ) 10度の重音

♩ = 108 以下

(イ)

♩ = 50 以下

(ロ)

♩ = 50 以下

(ハ)

♩ = 50 以下

(ニ)

♩ = 50 以下

(ホ)

♩ = 50 以下

(ヘ)

※すべてレガートとし、スラーは譜例に従うこと。
フィンガリングは自由とする。

(次ページに続く)

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	弦	ヴァイオリン (Vn)	第一回	<p>(B) N.Paganini:24 Caprices Op.1 より第 18 番 ハ長調 ※繰り返しはなし, Da Capo はあり。</p> <p>(注) 演奏は(A)(B)の順とする。 すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	楽		第二回	<p>(A) J.S.Bach:無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番 ト短調BWV1001より 第3楽章 Siciliano</p> <p>(B) F.Mendelssohn:ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64より 第1楽章Allegro molto appassionato</p> <p>(注) 演奏は (A) (B) の順とする。 すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 (B) は伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。 伴奏合わせは試験直前に行う) 時間の都合で一部省略させることがある。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 弦 楽 楽	ヴァイオラ (Va)	<p>(A) 音階 音階 Carl Fresch : Scale System (ヴィオラ用に編曲された版 〈Carl Fischer版〉より) ニ短調 (D Minor) で、次のイ、ロ、ハ、ニの各種を下記を参照し、演奏すること。</p> <p>(イ) 音階, 分散和音, 分散3度, 半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音</p> <p>(イ)</p>  <p>第一回</p> <p>(ロ)</p>  <p>(ハ)</p>  <p>(ニ)</p>  <p>※指定されたスラーを厳守すること。フィンガリングは自由。</p> <p>(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲	
器	弦	ヴァイオラ (Va)	第一回	<p>(B) Palaschko : 20 Studies Op.36 より No.6 Allegro molto</p> <p>※中間部の繰り返しは無しとし、使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(C) J.S.Bach : 無伴奏チェロ組曲第3番ハ長調(C Major)BWV1009 ヴァイオラ用に編曲された版より Gigue</p> <p>※繰り返しは無しとし、使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。</p>
	楽			楽

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器楽	弦	<p>(A) 音階 J.Loeb: Gammes et arpèges~Billaudot版より ホ短調(e minor) 譜例参照のこと</p> <p>♩ = 100 前後</p> <p>(イ) </p> <p></p> <p>♩ = 100 前後</p> <p>(ロ) </p> <p></p> <p></p> <p>(注)テンポは自由</p> <p>(ハ) </p>
	子 エ (Vc) 口	<p>第一回</p> <p>♩ = 60 前後</p> <p>(ニ) </p> <p>♩ = 60 前後</p> <p>(ホ) </p> <p>♩ = 60 前後</p> <p>(ヘ) </p> <p>(B) Duport: 練習曲より No.13 (e minor) 使用する楽譜の版は特に指定しない</p> <p>(注) すべて暗譜とし、繰り返しはなしとする。 時間の都合により一部省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	弦	チエロ (Vc)	<p>(A) J.S. Bach : 無伴奏チェロ組曲第1番ト長調(G Major) BWV1007より Allemande</p> <p>※繰り返しはなしとする。使用する楽譜の版は特に指定しない</p> <p>(B) J. Haydn : Concerto ハ長調(C Major)より 第1楽章 Moderato ※カデンツァはなしとする。Henle版を使用すること</p> <p>(注) すべて暗譜とし、繰り返しはなしとする。 (B)はピアノ伴奏つきで演奏する (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする</p>
楽	楽		

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
弦 楽	コントラバス (C ^b)	<p>(A) 音階 ハ短調 (c-moll)</p> <p>♩ = 52~60</p>  <p>第一回</p> <p>(B) J.S.Bach 無伴奏チェロ組曲第1番より Courante ※PETERS版 (S.Sterling編) を使用すること。 ※繰り返しはなし。 ※アーティキュレーション、ボーイングは自由。</p> <p>(C) L.v.Beethoven 交響曲第9番より第4楽章の冒頭 ※SimandlのNew Method for the Double Bass Book 1 (新ダブルベース教則本 第1巻) C.Fischer版の巻末134頁から136頁までを使用すること。 ※ピアノ (オーケストラ) だけの小節は数えなくても良い。 ※Allegro ma non troppo の部分のcisの持続音 (8小節間) は演奏しなくて良い。</p> <p>(注) (A) (B) (C) とともに暗譜で演奏すること。 楽器の貸与はしない。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器 弦 楽 楽	コントラバス (Cb)	第二回	<p>D.Dragonetti:Andante und Rondo ※Doblinger版を使用すること。 ※繰り返しは全てなし。</p> <p>(注) 暗譜で演奏すること。 ピアノ伴奏付きで演奏すること。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。伴奏合わせは試験直前に行なう。) オーケストラ(ノーマル)チューニングで演奏すること。 出版されている伴奏譜はソロチューニング用の為、オーケストラチューニング用伴奏譜の希望があれば本学で用意する。 楽器の貸与はしない。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
		第一回	<p>(A) J.S. Bach: 10 Pièces より第8番 (Renié: Les Classiques de la Harpe より) (B) E.Schmidt: Six Etudes より第3番 (C) F.Godefroid: Etude de Concert en Mi b mineur</p> <p>(注) 全て暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	ハープ (Hp)	第二回	<p>N.Rota: Sarabanda e Toccata</p> <p>(注) 全て暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 都合により一部を省略させることがある。</p>
		第一回	<p>(A) J.S. Bach: 10 Pièces より第8番 (Renié: Les Classiques de la Harpe より) (B) E.Schmidt: Six Etudes より第3番 (C) F.Godefroid: Etude de Concert en Mi b mineur</p> <p>(注) 全て暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>

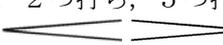
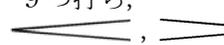
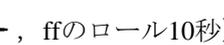
科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器 管 打 楽	管 木 打 管	<p>◎木管楽器共通注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 音階および分散和音（主和音） 各専攻の課題の内容にしたがって、暗譜で演奏する。演奏する調は当日指定する。なお、分散和音はクラリネットにのみ課される。 音感適性検査 ピアノで弾いた音に対して、それぞれの楽器で同じ音を奏する。ただし、楽器によってはこの試験を課さないこともある。 課題曲 暗譜の指定がないものは、楽譜を使用してもよい。 <p>第2回</p> <p>各専攻（1）の課題は、暗譜で演奏すること。試験ではピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は、本学において用意する。 各専攻（2）以降の課題は楽譜を使用してよい。各専攻楽器欄を参照のこと。</p>	
		フルート (F I)	<p>第一回</p> <p>(1) 音階 下記の例を参考にして、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。短調では旋律短音階を演奏する。 (例) </p> <p>(2) G. Ph. Telemann : Zwölf Fantasien für Querflöte ohne Baß (Bärenreiter版) より 第2番 a-moll 繰り返しなしで演奏すること。</p> <p>(3) S. Karg-Elert : 30 Studies Opus 107 より No.20</p>
		フルート (F II)	<p>第二回</p> <p>(1) F. Kuhlau : Introduction und Variationen über ein Thema aus Carl Maria von Webers "Euryanthe" für Flöte und Klavier op. 63 (Var. I, Var. IVはカット)</p> <p>(2) 次の a) ~ g) の中より任意の1曲を演奏すること。</p> <p>a) L. Berio : Sequenza I b) E. Bozza : Image c) C. Halffter : Debra (6分以内にカットすること) d) P. Hindemith : 8 Stücke より 1,2,3,5,6,8 e) 一柳慧 : 忘れえぬ記憶の中に f) S. Karg-Elert : Sonata "Appassionata" g) I. Yun : Etüden für Flöte(n) solo より Nr. 5</p>
		オーボエ (Ob)	<p>第一回</p> <p>(1) 音階 《サクソフォーンのためのトレーニングブック》(須川展也編, 音楽之友社) P. 51, P. 52の音型を用い、スラーで演奏すること。繰り返しなし。テンポは♩=112以上とする。短調では和声短音階, 旋律短音階ともに演奏する。</p> <p>(2) G. Ph. Telemann : Zwölf Fantasien für Querflöte ohne Baß (Henle版) より 第1番または第7番のいずれかを選択する。繰り返しがある楽章は前半のみ繰り返しをし、暗譜で演奏する。 フレージング, 装飾は時代様式に沿ったものを受験者任意でつけること。</p> <p>(3) F. W. Ferling : 48 Übungen op. 31 für Oboe (全音楽譜出版社版) No. 1, 8, 17, 18, 22, 23, 25, 33, 36, 42, 45 より当日指定する。</p> <p>第二回</p> <p>(1) W. A. Mozart : Konzert für Oboe Orchester C-dur KV 314 (Bärenreiter版) 第1楽章 カデンツァを含む。ピアノ伴奏は26小節目から演奏を始める。</p> <p>(2) オーケストラスタディ 《Orchester Probespiel by Miller / Liebermann》(Peters版) より J. Brahms : Violinkonzert 第2楽章</p>

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲
器楽	管木	クラリネット (C1)	<p>第一回</p> <p>(1) 音階および分散和音 下記の例を参考にして、いずれも当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。短調では旋律短音階を演奏する。</p> <p>(音階例)</p>  <p>(分散和音例)</p>  <p>(2) C. Rose : 32 Etudes No. 29, 30, 31, 32 (Alphonse Leduc版)</p> <p>(3) E. Cavallini : 30 Capricci No. 13, 14, 16, 17 (Ricordi版)</p> <p>(4) P. Jeanjean : Etudes Progressives et Mélodiques No. 6, 8, 16, 20 (Alphonse Leduc版)</p> <p>(注) (2) (3) (4) とも演奏箇所は当日指定する。</p>
			<p>第二回</p> <p>(1) C. M. v. Weber : Konzert Nr. 1 f-moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ベールマン・カデンツァを含む), 第2楽章</p> <p>(2) a) G. Donizetti : Studie 冒頭から67小節目まで</p> <p>b) P. M. Dubois : Douze Études (Alphonse Leduc版) よりIV 上記a), b) から、ひとつを選んで演奏すること。</p>
	打楽管	ファゴット (Fg)	<p>第一回</p> <p>(1) 音階 下記の例を参考にして、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。短調では旋律短音階を演奏する。</p> <p>(例)</p>  <p>(2) J. Weissenborn : Studies for Bassoon Op. 8 Vol. II (何版にても可) No. 1~No. 21の中から当日指定する。 繰り返しなしで演奏すること。</p>
			<p>第二回</p> <p>(1) K. Stamitz : Konzert F-dur für Fagott und Orchester 第1楽章 (Sikorski版) カデンツァあり</p> <p>(2) J. Weissenborn : Studies for Bassoon Op. 8 Vol. II (何版にても可) No. 22~No. 43より任意の1曲を演奏すること。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)			試験内容及び試験曲	
器	管	木	サクソフォン (S x)	第 一 回	<p>(1) 音階 下記の例を参考にして音域内で、当日指定によりスラーまたはスタッカートで演奏すること。短調では和声短音階を演奏する。</p> <p>(例)</p>  <p>(2) Ferling : 48 etudes (Leduc版) No.1, 2, 4, 5, 6, 8, 9, 14, 17, 18, 22, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 36, 40, 41, 49, 50, 53, 58 より当日指定する。</p> <p>(3) P. Creston : Sonata 第1楽章 (Shawnee版)</p>
					楽

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
器楽	管打楽	金管	<p>◎金管楽器共通注意事項</p> <p>※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p>※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 音階（トランペットを除く） 全ての調（長調，短調「自然，和声，旋律」）の中より当日指定する。但し，下記のリズムパターンで演奏すること。暗譜で演奏のこと。  <ul style="list-style-type: none"> 課題曲（注）ホルン，ユーフォニアムは楽譜を持参して使用すること。それ以外の楽器で暗譜を指定されたもの以外は当日，試験室に用意された楽譜を使用すること。 <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題曲（注）特に指定したもの以外は，楽譜を使用してもよい。課題曲にはピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学において用意する。 	
			ホルン (Hr)	第一回
		管楽	第二回	<p>(1) W. A. Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr. 4 Es-Dur K.495より 第1楽章（カデンツァなし） 演奏箇所は当日指定する。（版指定なし）</p> <p>(2) 初見視奏</p>
		トランペット (Tp)	第一回	<p>(1) Arban : Complete Grand Method（全音楽譜出版社版）より長音階P.65～P.80，短音階P.81 第70～81番まで 上記の中より当日指定する。 (注) 長音階第16, 22, 28, 34, 41, 50, 56, 62, 68, 69番は除く。</p> <p>(2) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trumpet（全音楽譜出版社版）（P.7～P.33） 第10番～第44番の中より当日指定する。</p> <p>(3) Théo Charlier : Trente-six Etudes Transcendantes Pour Trompette Cornet à Pistons ou Bugle Sib Nouvelle édition (Leduc版) No.1, 2, 4, 5 より当日指定する。</p>
			第二回	<p>(1) Carl Höhne : Slavische Fantasie für Cornet à pistons (ED. Bote & Bock. Berlin版) (Boosey & Hawkes版) (注) B♭Trumpet を使用のこと</p> <p>(2) 初見試奏</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器楽	管打楽	<p>◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン, ユーフォニアム共通課題 E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music版) より下記の部分</p>  <p>第7ポジションまで演奏のこと。(ユーフォニアムはトロンボーンの演奏に準ずる。) (注) 暗譜とする。</p>	
		テナー・トロンボーン (T T b)	<p>第一回</p> <p>(1) 共通課題 (2) Brad Edwards (著、出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.5, P.6 のNo.1.9, 1.10, 1.11, 1.12 (3) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.14, 15, 18, 21, 26, 32, 34, 35, 40, 42 (注) (2) (3) の演奏箇所は当日指定する。リピートは不要。</p>
			<p>第二回</p> <p>F. DAVID : Concertino in Eb, op.4 (Zimmermann版) より第1, 第2楽章 (注) 暗譜とする。演奏箇所は当日指定する。</p>
		バス・トロンボーン (B T b)	<p>第一回</p> <p>(1) 共通課題 (2) Brad Edwards (著、出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.5, P.6 のNo.1.9, 1.10, 1.11, 1.12 (3) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より No.11, (17), (19), 25, 28, (31), (37), 42, (43), 46 (注) (2) (3) の演奏箇所は当日指定する。 (3) の () の曲は1オクターブ下げて演奏すること。他は記譜通り。 リピートは不要。</p>
			<p>第二回</p> <p>F. DAVID : Concerto (Concertino) in Bb for Bass Trombone (Zimmermann版) より 第1, 第2楽章 (注) 暗譜とする。演奏箇所は当日指定する。</p>
		ユーフォニアム (E u p h)	<p>第一回</p> <p>(1) 共通課題 (2) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.10~No.39 (No.34は除く) より, 当日指定する。 リピートは不要。</p> <p>第二回</p> <p>P. V. De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et piano (Leduc版), Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company版) どちらの版でもよい。 (注) 暗譜とする。カデンツァは記譜通りの音で演奏すること。</p>
		チューバ (T u)	<p>第一回</p> <p>(1) C. Kopprasch : 60 selected studies for tuba (Hofmeister版) No.3~No.33の中より, 当日指定する。 (2) M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies for Tuba (or Bass Trombone) (Robert King Music版) よりNo.7,13,15の中より当日指定する。</p>
			<p>第二回</p> <p>A. Lebedjew : Konzert Nr.1 für Tuba/Baßpozaune und Orchester (Hofmeister版) (注) 暗譜とする。 ※第1回, 第2回とも, C管かBb管を使用すること。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 管 打 楽 楽	打 楽 器 (Pc)	<p>◎打楽器共通注意事項</p> <p>第1回 1. リズム感のテスト 2. 聴音 ピアノにより音を与え音名を答えさせる。</p> <p>第2回 初見視奏</p>
		<p>小太鼓</p> <p>(1) 小太鼓の基本打法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, 9つ打ち, ロール (, , , ffのロール10秒)</p> <p>(2) C. Wilcoxon : The All-American Drummer 150 Rudimental Solos (Ludwig Music版, 又はLudwig Masters版) No.1~No.10, No.31~No.40の中から当日指定する。</p> <p>マリンバ</p> <p>(1) 音階 下記の音型による各調の中より当日指定。 M.M. ♩ = 100~120</p>  <p>(2) 課題曲 J. S. Bach : Sonaten und Partiten BWV 1001-1006 für Violine solo (Peters版) より Partita III ~ Preludio, Loure (曲の一部を指定することもある)</p> <p>(3) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p>ティンパニ</p> <p>(1) チューニング (当日指定した音程をつくること)</p> <p>(2) ロール ff, pp,  等</p> <p>(3) S. Goodman : Modern Method for Timpani (Belwin-Mills版) よりP.24~P.35まで の中から当日指定する。</p> <p>(4) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 管 打 楽 楽	打 楽 器 (Pc)	<p style="text-align: center;">第二回</p> <p>小太鼓 (1) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm (Belwin-Mills版) No.1, 4, 12, 15, 43, 50の中より当日指定する。</p> <p>(2) 鍵盤打楽器で音階2オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato等, 表情をつけて) (例)</p>  <p>(3) 三善晃 : 会話より1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリimba曲集Ⅱ)</p> <p>マリimba (1) 自由曲 (2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music版, 又はLudwig Masters版) P.4~P.11の中から当日指定する。 <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p>ティンパニ (1) E. Carter : EIGHT PIECES for Four Timpani (Associated Music Publishers版) 「I. Saëta」 「VII. Canaries」より当日指定する。</p> <p>(2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music版, 又はLudwig Masters版) P.4~P.11の中から当日指定する。 <u>(注) 小太鼓は, 各自持参すること。</u></p> <p>(3) 鍵盤打楽器で音階2オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato等, 表情をつけて) (小太鼓の(2) 譜例を参照のこと)</p> <p>(4) 三善晃 : 会話より1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリimba曲集Ⅱ)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 古 楽 楽		<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>①ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ (a'=415, 8'8"4, FF-F") のみとする。</p> <p>②バロックヴァイオリン、リコーダーの受験生は必要なチェンバロ伴奏者を同伴すること。</p> <p>③すべての受験生は、受験曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて、出願とともに学生募集係に提出すること。</p> <p>④演奏する作品の楽譜すべてをコピーしA4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願とともに学生募集係に送付すること。当該楽譜は「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。</p>
	<p>チェンバロ (C e m b)</p>	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。繰り返し記号による繰り返しはすべて省略)</p> <p>①G. Böhm : Suite, c-Moll (全楽章)</p> <p>②J. S. Bach : Das wohltemperierte Klavier 第1巻より Praeludium und Fuga, Cis-Dur (BWV 848)</p> <p>③J. S. Bach : Das wohltemperierte Klavier 第2巻より Praeludium und Fuga, dis-Moll (BWV 877)</p> <p>④J.P.Rameau : L'Entretien des Muses</p> <p>⑤次の2曲のD. Scarlattiのソナタより任意の1曲 K.104 (G-Dur) , K.141 (d-Moll)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	<p>バロックヴァイオリン (B V n)</p>	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>①F. Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) Essempio XIV から、任意の調のスケールを選択して演奏する。</p> <p>②次のイ) かロ) どちらかから任意の1曲を演奏する。 イ) 17世紀イタリアのソナタ (例 : D. Castello, B.Marini, G. P. Cimaの作品) を1曲 ロ) F. Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) のCompositionから1曲</p> <p>③F. Couperin : 任意のコンセールから2つの楽章</p> <p>④G. F. Handel, A. Corelli, J-M. Leclair のソナタより任意の1曲 (全楽章)。</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
<p>リコーダー (R e c)</p>	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>①Giovanni Bassano : Ricercate, passaggi et cadentie より任意のRicercataを1曲 (リコーダー用に移調して演奏。使用リコーダー、ピッチは自由)</p> <p>②Jacques-Martin Hotteterre : Suite 1 (Oeuvre II 1715年) より任意の3つの楽章 (バロックタイプのトレブルを使用しへ長調に移調して演奏。ピッチa'=415。)</p> <p>③G.F.Handel : Sonata HWV 360, 362, 365, 367a, 369, 377 より任意の1曲 (全楽章。バロックタイプのトレブルを使用。ピッチはa'=415)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
指揮		第一回	<p>(1) 聴音 (a) 単旋律及び複旋律 (ピアノによる) (b) 受験者に楽譜を与え、試験委員の行う演奏との相違点を指摘させ、聴覚的判断力、和声感覚の能力を試験する。</p> <p>(2) 新曲視唱</p> <p>(3) 課題曲 Ludwig van Beethoven : Symphonie Nr.5 op.67 全楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(ピアノによる)</p>
		第二回	<p>(1) 課題曲 Bartók Béla : Divertimento für Streichorchester 第1楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(合奏による)</p> <p>(2) ピアノによる簡易なスコア初見視奏</p> <p>(3) 器楽試験 弦楽器 (ハープを含む)、管打楽器又はピアノのいずれかにより任意の曲を演奏させる。</p> <p>(4) 音楽一般に関する試問 ※必要に応じて、ハーモニー、リズム等の適性検査を行うことがある。</p> <p>(注1) 第2回の(3)器楽試験においては、弦楽器及び管打楽器の種類選択は任意とし、楽譜視奏も差し支えないが、すべて無伴奏とする。 (注2) 前号の器楽試験をピアノで受ける場合も、副科実技等の副科ピアノ試験は、別に受けなければならない。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲																			
邦楽	三味線音楽・邦楽囃子 長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄 常磐津 清元 邦楽囃子	<p>◎邦楽共通注意事項 受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲および自由曲を暗譜で演奏すること。 ただし、長唄・常磐津・清元の各志願者は、唄本（歌詞のみ）を用いてよい。 各専攻とも、二次試験に面接を課す。</p>																			
		<p>◎長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元・邦楽囃子共通注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。 2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。 3. 上記1. 及び2. に関わらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を2021年2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。 4. 邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長唄三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。 5. 邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。 6. 唄、浄瑠璃の試験に関しては、扇子を持参すること。 7. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。 8. 邦楽囃子第2回Cにおいては、譜面使用可とする。 																			
		<p>課題曲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">長唄三味線 長唄</td> <td>「秋色種」(十世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>「土蜘蛛」(三世杵屋勘五郎作曲)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">常磐津三味線 常磐津</td> <td>「廓八景」(五世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td>「鶴亀」(四世岸澤古式部作曲)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">清元三味線 清元</td> <td>「鳥刺」(初世清元斎兵衛作曲)</td> </tr> <tr> <td>「三社祭」(初世清元斎兵衛作曲)</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子(小鼓)</td> <td>元禄花見踊(三世杵屋正治郎作曲)</td> </tr> <tr> <td>〃(大鼓)</td> <td>鶴亀(十世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>〃(太鼓)</td> <td>鶴亀(十世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>〃(笛)</td> <td>俄獅子(四世杵屋六三郎作曲)</td> </tr> </tbody> </table> <p>当日、この曲の中より試験官の指定する曲とその箇所を演奏すること。</p>	志願部門	課題曲	長唄三味線 長唄	「秋色種」(十世杵屋六左衛門作曲)	「土蜘蛛」(三世杵屋勘五郎作曲)	常磐津三味線 常磐津	「廓八景」(五世岸澤式佐作曲)	「鶴亀」(四世岸澤古式部作曲)	清元三味線 清元	「鳥刺」(初世清元斎兵衛作曲)	「三社祭」(初世清元斎兵衛作曲)	邦楽囃子(小鼓)	元禄花見踊(三世杵屋正治郎作曲)	〃(大鼓)	鶴亀(十世杵屋六左衛門作曲)	〃(太鼓)	鶴亀(十世杵屋六左衛門作曲)	〃(笛)	俄獅子(四世杵屋六三郎作曲)
志願部門	課題曲																				
長唄三味線 長唄	「秋色種」(十世杵屋六左衛門作曲)																				
	「土蜘蛛」(三世杵屋勘五郎作曲)																				
常磐津三味線 常磐津	「廓八景」(五世岸澤式佐作曲)																				
	「鶴亀」(四世岸澤古式部作曲)																				
清元三味線 清元	「鳥刺」(初世清元斎兵衛作曲)																				
	「三社祭」(初世清元斎兵衛作曲)																				
邦楽囃子(小鼓)	元禄花見踊(三世杵屋正治郎作曲)																				
〃(大鼓)	鶴亀(十世杵屋六左衛門作曲)																				
〃(太鼓)	鶴亀(十世杵屋六左衛門作曲)																				
〃(笛)	俄獅子(四世杵屋六三郎作曲)																				
		<p>第一回</p> <p>A. 自由曲1曲 明治45年(西暦1912年)以前に作曲された曲で、第1回課題曲を除いたものを選ぶこと。時間を要する曲で、上・中・下にわかれているものは、それぞれ各1曲とする。</p> <p>B. 邦楽囃子以外の志願者は、志願部門の課題曲より、下記区分に従い1曲を選ぶこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>選択分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>長唄</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>長唄三味線</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線</td> </tr> </tbody> </table> <p>C. 邦楽囃子の志願者は、長唄三味線又は長唄のいずれかの分野を選択し、以下の2曲の中から1曲を選ぶこと。 「供奴」(十世杵屋六左衛門作曲) 「末広狩」(十世杵屋六左衛門作曲)</p> <p>第二回</p>	志願部門	選択分野	長唄三味線	長唄	常磐津三味線	常磐津	清元三味線	清元	長唄	長唄三味線	常磐津	常磐津三味線	清元	清元三味線					
志願部門	選択分野																				
長唄三味線	長唄																				
常磐津三味線	常磐津																				
清元三味線	清元																				
長唄	長唄三味線																				
常磐津	常磐津三味線																				
清元	清元三味線																				

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
邦楽	邦楽 囃子	<p>◎現代邦楽囃子に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1・2回試験は譜面を使用してもよい。 2. 第1・2回試験の小鼓以外の打楽器は本学が準備した楽器を使用すること。 3. 第1・2回試験のパートや試験範囲は当日指定する。 4. 第1・2回試験の笛（竹笛，能管），バチ類は各自準備すること。 5. 第1・2回試験ともに独奏で演奏すること。 6. 課題曲の譜面が入手困難な場合は，本学音楽学部教務係に連絡すること。 		
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="185 414 470 555">第一回</td> <td data-bbox="470 414 1522 555">笛・打楽器共通課題曲 「颯踏」 長澤勝俊作曲</td> </tr> <tr> <td data-bbox="185 555 470 952">第二回</td> <td data-bbox="470 555 1522 952"> <p>(1) 課題曲 笛：「ダンスコンセルタント 第1番〈四季〉」三木稔作曲 「郢曲 鬢多々良」伊福部昭作曲 打楽器：「子どものための組曲」長澤勝俊作曲 「邦楽器のためのインプロヴィゼーション」秋岸寛久作曲 「ディヴェルティメント」佐藤敏直作曲</p> <p>(2) 五線譜による初見視奏 笛：竹笛による 打楽器：大太鼓による</p> <p>(3) 口頭試問</p> </td> </tr> </table>	第一回	笛・打楽器共通課題曲 「颯踏」 長澤勝俊作曲
第一回	笛・打楽器共通課題曲 「颯踏」 長澤勝俊作曲			
第二回	<p>(1) 課題曲 笛：「ダンスコンセルタント 第1番〈四季〉」三木稔作曲 「郢曲 鬢多々良」伊福部昭作曲 打楽器：「子どものための組曲」長澤勝俊作曲 「邦楽器のためのインプロヴィゼーション」秋岸寛久作曲 「ディヴェルティメント」佐藤敏直作曲</p> <p>(2) 五線譜による初見視奏 笛：竹笛による 打楽器：大太鼓による</p> <p>(3) 口頭試問</p>			
楽	日本舞踊	<p>◎日本舞踊に関する注意事項</p> <p>第1回・第2回ともに小道具は用いず，扇子及び手拭いをもって代用すること。 なお，着物・扇子・手拭いの種類は指定しない。</p>		
		第一回	<p>課題曲2曲 男形 長唄「七福神」 ー使用音源「日本舞踊曲大全集」第一集【花の巻】<33>ー65 女形 長唄「蓬萊」 ー使用音源「日本舞踊曲大全集」第一集【花の巻】<49>ー99</p> <p>本学の用意した音源で，両曲とも試験官の指定した箇所を踊る。</p>	
		第二回	<p>A. 自由曲1曲 昭和20年（1945年）以前に作曲された，課題曲を除いた曲を選ぶ。 当日録音テープを持参，提出し，試験官の指定する箇所を踊る。</p> <p>B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。</p> <p>C. 試験官の用意した振付を三回見て覚え，その場で同じ振りを踊る。</p>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲										
邦楽	山田流	第一回	箏：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">「近江八景」</td> <td style="padding: 2px 10px;">山登萬和</td> <td style="padding: 2px 10px;">作曲</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">「臼の聲」</td> <td style="padding: 2px 10px;">三世 山登松齡</td> <td style="padding: 2px 10px;">作曲</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">「都の春」</td> <td style="padding: 2px 10px;">三世 山勢松韻</td> <td style="padding: 2px 10px;">作曲</td> </tr> </table> </div>	「近江八景」	山登萬和	作曲	「臼の聲」	三世 山登松齡	作曲	「都の春」	三世 山勢松韻	作曲
		「近江八景」	山登萬和	作曲								
		「臼の聲」	三世 山登松齡	作曲								
		「都の春」	三世 山勢松韻	作曲								
	第二回	箏：自由曲 1 曲 第一回の受験曲を除いた古典・近代・現代曲 (第一回で受験した曲以外の課題曲 2 曲からも選択できる) ※別科を併願する場合は、別科課題曲を除く。 三絃：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">「子の日の遊」</td> <td style="padding: 2px 10px;">二世山木太賀</td> <td style="padding: 2px 10px;">作曲</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">「薄霞」</td> <td style="padding: 2px 10px;">文部省音楽取調掛</td> <td style="padding: 2px 10px;">作曲</td> </tr> </table> </div>	「子の日の遊」	二世山木太賀	作曲	「薄霞」	文部省音楽取調掛	作曲				
	「子の日の遊」	二世山木太賀	作曲									
「薄霞」	文部省音楽取調掛	作曲										
第一回	箏：課題曲 1 曲 下記の中から 2 曲を選択し、試験当日そのうちの 1 曲を受験者が抽選により決定する。 「萩の露」 (幾山検校作曲) 一は壺越 (D) 「嵯峨の秋 (本手)」 (菊末検校作曲) 一は勝絶 (F) 「茶音頭」 (菊岡検校作曲・八重崎検校箏手付) 一は双調 (G) 「磯千鳥」 (菊岡検校作曲・八重崎検校箏手付) 一は神仙 (C)											
第二回	箏：自由曲 1 曲 1909 (明治 42) 年以降に作曲、又は手付された曲。ただし、楽章単位ではなく 1 曲単位で受験すること。 三絃：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 「遠砧」 (宮城道雄作曲) I の糸は壺越 (D) 「ながらの春」 (菊岡検校作曲) I の糸は壺越 (D) 「みだれ」 (八橋検校作曲) I の糸は壺越 (D)											
第一回	箏：課題曲 2 曲 下記 4 曲のうち 2 曲を選び、曲目提出用紙に記入し提出すること。 「手事」 (宮城道雄作曲) 「楽」 (沢井忠夫作曲) 「凍る」 (池辺晋一郎作曲) 「上無」 (山本邦山作曲)											
第二回	(1) 箏：自由曲 1 曲 ・ 1950 年以降作曲の箏独奏のための楽曲を選ぶこと。 ・ 各自が演奏する楽曲の楽譜を 1 部提出すること。 ・ 楽譜の書式は問わない (五線譜・縦譜・横譜等)。 ・ 楽譜は任意の封筒を使用して、 書留速達 扱いで出願と同時に、他必要書類と別便で、郵送すること。送り先は必要書類送付先と同所とする。 ・ 提出された楽譜は返却しない。 (2) 初見視奏 下記の調絃にした箏を本学で用意する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> (3) 口頭試問											

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
邦	尺八	<p>◎尺八に関する注意事項</p> <p>1. 尺八受験者は出願の際、琴古流・都山流のいずれかを選択し、出願すること。</p> <p>2. 全曲暗譜とする。</p>
		<p>第一回</p> <p>選択曲 1曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」 都山流「木枯」「朝風」(流祖中尾都山作曲) 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p> <p>第二回</p> <p>課題曲 1曲 尺八本曲 琴古流「一二三鉢返調」 都山流「峰の月」(流祖中尾都山作曲)</p> <p>選択曲 2曲 ①外曲古典 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「都の春」「白の声」「夕顔」「茶音頭」</p> <p>②外曲新曲 下記のうちから1曲を選んで演奏する。 「赤壁賦」(中能島欣一作曲) 「春の訪れ」(宮城道雄作曲) 「春の海」(宮城道雄作曲)</p> <p>※②外曲新曲については、五孔の一尺六寸管(竹製)を用いること。 ※琴古流の「赤壁賦」は、邦楽社刊箏譜「赤壁賦」(中能島欣一著)に掲載の尺八譜による。</p> <p>ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること(選択曲②は除く)。 イ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。 ウ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 エ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>
楽	能 (囃子を除く)	<p>◎能楽に関する注意事項</p> <p>1. 第1回、第2回とも観世流、宝生流、下掛宝生流、和泉流のいずれかで受験すること。</p> <p>2. 能楽について簡単な試問を行うことがある。</p> <p>3. 受験者は黒紋付、袴、白足袋着用のこと。</p>
		<p>第一回</p> <p>(イ) シテ方(観世流及び宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び「鶺鴒」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「田村」キリ</p> <p>(ロ) ワキ方(下掛宝生流) (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び「鶺鴒」待謡より終わりまで (B) 仕舞 「春栄」</p> <p>(ハ) 狂言方(和泉流) (A) 謡曲 「風車」および「柳の下」 (B) 小舞 「花の袖」</p> <p>ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p> <p>第二回</p> <p>謡曲及び仕舞または小舞自由曲1曲ずつ(ただし、第1回および別科の課題曲を除く。) 謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。 謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
邦	能楽囃子	<p>◎能楽囃子に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下記の曲を一噌流, 幸流, 高安流, 観世流(太鼓)のいずれかで受験すること。 2. 笛, 小鼓, 太鼓の試験に際しては, 各自持参の楽器を使用してもよい。ただし, 太鼓については, 楽器を使用しない。 3. 能楽について簡単な試問を行うことがある。 4. 受験者は黒紋付, 袴, 白足袋着用のこと。
		<p>第一回</p> <p>囃子 下記(イ)～(ニ)より受験する楽器及び課題曲をひとつ選択。</p> <p>(イ) 笛 (一噌流) 「早舞」三段 (ロ) 小鼓 (幸流) 「天鼓」キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「屋島」キリ (ニ) 太鼓 (観世流) 「山姥」キリ</p>
		<p>第二回</p> <p>囃子 自由曲(ただし, 第1回及び別科の課題曲を除く。) 謡曲 下記の中から1曲を自由選択。(ただし観世流, または宝生流のいずれかで受験すること。)</p> <p>(イ) 「紅葉狩」 サシより中入まで (ロ) 「鶉飼」 待謡より終わりまで (ハ) 「竹生島」 クセ上げより「下界の龍神現れたり」まで</p>
楽	雅楽 笙 箏 龍 笛	<p>◎雅楽に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雅楽専攻で受験できる楽器は「笙」, 「箏」, 「龍笛」各専攻の竹製楽器とする。 2. 実技試験は, 管絃吹で行う。
		<p>第一回</p> <p>(A) 下記の3曲より1曲を指定し, 暗譜による「唱歌テスト」を行う。 (B) 下記の3曲より1曲を指定し, 暗譜による「音取」及び「実技テスト」を行う。</p> <p>課題曲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平調「陪臚」 2. 黄鐘調「拾翠楽」 3. 盤渉調「越殿楽」
		<p>第二回</p> <p>(C) 下記の課題曲により第1回試験の(A)及び(B)の試験を再度行う。 (D) 「舞」の為のリズムテスト (E) 「雅楽」についての試問をする。</p> <p>課題曲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 壹越調「新羅陵王急」 2. 双調「胡飲酒破」 3. 太食調「抜頭」

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
楽理		第一回	<p>1. 国語（試験時間：2時間） 国語総合・現代文B・古典B</p> <p>2. 外国語（試験時間：2時間） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ），ドイツ語，フランス語のうち1科目を選択する。</p>
		第二回	<p>小論文（含、口述試問。試験時間：筆記2時間） 音楽学の学習に必要な基礎的能力を問う課題文。（課題は当日出題する。）</p>
音楽環境創造		第一回	<p>学力検査〔音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）〕（60分） ※高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」程度を出題範囲とする。</p>
		第二回	<p>小論文および面接（自己表現を含む）</p> <p>●小論文（120分）</p> <p>●面接（20分）自己表現を含む。 ○自己表現 下記の1～3のいずれかを選択し（受験票に記入，複数選択も可），制限時間内（5分）で行うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 演奏（コンピュータ・電子楽器等も可） ※表現能力・創作能力などをアピールしたい場合 2. パフォーマンス（演奏以外の表現。複合的表現を含む。） ※演奏以外の表現力や感性をアピールしたい場合 3. プレゼンテーション（パネルやチャート図等によるプランの提示，楽譜等の作品，研究計画書等） ※企画・アイデアをアピールしたい場合 <p>（自己表現の注意事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人でできるもの（伴奏者・共演者は認めない。） ・セッティングを含めて5分以内で終了すること。 ・グランドピアノは用意されている。それ以外の楽器は各自持参すること。 ・AV機器（CD/DVD，ステレオミニフォンプラグのケーブル）は用意されている。 ・コンピュータを持参して使用することは可能だが，機器についてのサポートは一切与えられないので，全て自己責任にて用意すること。 ・「2. パフォーマンス」を行う試験場の床は一般的なフローリングである。床を傷つけないような演目，靴，衣装であること。 （パフォーマンスで使用できる広さは，幅約8m×奥行き約6m。天井の高さは約2m30cm。）
		<p>●音楽環境創造科受験者の志望理由書の提出について 音楽環境創造科志願者は，志望理由書（800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと）を出願時に，他必要書類とともに提出すること。志望理由書は面接時の参考とする。</p>	

②音楽に関する基礎能力検査

1. 筆記試験

a) 聴音書き取り (試験時間: 約30分)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(35ページの例題程度)

単旋律 (1題)

複旋律 (1題)

四声体和声 (1題)

b) 楽典 (試験時間1時間)

音楽環境創造科を除く全科の志願者に課す。和声・楽式等作曲法の内容は含まない。

2. 実技試験

a) 新曲視唱 (1題)

歌詞を伴わない初見唱。作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。

(36ページの例題程度)

b) リズム課題 (1題)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。(36ページの例題程度)

聴音書き取り例題

単旋律

Single Melody example. The score consists of three staves of music in 6/8 time, with a tempo marking of ♩ = 52. The key signature has one sharp (F#). The melody is written in a single voice across the three staves, featuring various rhythmic patterns and accidentals.

複旋律

Polyphony example. The score consists of two systems of two staves each, in 2/4 time with a tempo marking of ♩ = 54. The key signature has two flats (Bb, Eb). The first system shows a simple polyphonic texture. The second system features more complex textures with triplets and sextuplets indicated by brackets and numbers 3 and 6.

四声体和声

Four-voice harmony example. The score consists of two staves in 4/4 time with a tempo marking of ♩ = 52. The key signature has one sharp (F#). The music is written in four voices (Soprano, Alto, Tenor, Bass) across the two staves, showing harmonic progression and voice leading.

新曲視唱例題

●作曲科、器楽科、楽理科志願者

♩=60

mf mp p cresc. f

●声楽科志願者

♩.=48

mf mp p cresc. f

リズム課題例題

手で拍を振りながら、下記のリズムを音程をつけずに音名で読みなさい。

●作曲科、器楽科、楽理科志願者

♩= 60 ca.

●声楽科志願者

♩= 60 ca.

③副科実技等

1. 副科ピアノ

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>作曲科</p> <p>器楽科 (オルガンのみ)</p> <p>指揮科</p> <p>楽理科 (ピアノでの 志願者)</p>	<p>次の(イ)、(ロ)、(ハ)から1つ選択すること。</p> <p>(イ) J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 平均律ピアノ曲集第1巻、第2巻より任意の1曲(Praeludium 及び Fuga の両方を準備すること。)</p> <p>(ロ) L.v.Beethoven : Klaviersonaten Op. 2 No.1、2、3 Op. 7 Op.10 No.1、2、3 の中から1曲を選び、その第1楽章 Op.13 Op.14 No.1、2 Op.22</p> <p>(ハ) F.Chopin : 練習曲集 Op.10、25 より任意の1曲</p> <p>(注) いずれも暗譜とする。繰り返しなし。</p>
<p>声楽科</p> <p>器楽科 (弦楽、管打楽)</p>	<p>(1) 音階 : Hanon No.39 の中から当日指定する。 同一調号による長調と短調 但し速度を♩=100 程度以上とする。 (注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。</p> <p>(2) 下記のソナチネ、ソナタより1曲を選び、その第1楽章。 Kuhlau : Op.20 No.1,2,3 Op.55 No.1,2,3 Clementi : Op.36 No.2,3,4,5,6 Haydn : Hob. XVI/35(C-dur) Mozart : KV 545(C-dur) Beethoven : Op.49 No.1 g-moll, 2 G-dur 版によってナンバーが違う可能性があるので注意すること。 Dussek : Op.20 No.1</p> <p>(注) (1)、(2)とも暗譜とする。繰り返しなし。</p>

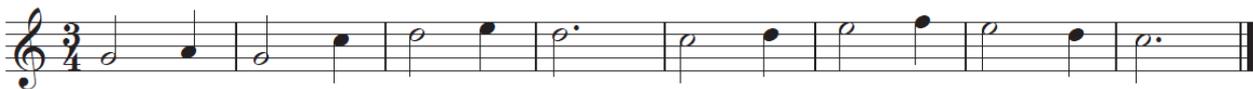
2. ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）

受験者区分	試験内容及び課題曲等
<p>楽理科は、ピアノ以外の右記の楽器等により副科実技を受験することができる。</p>	<p>オルガン・チェンバロ・弦楽器・管楽器・打楽器・邦楽器（三味線・箏・尺八・邦楽囃子・能楽囃子・雅楽）</p> <p>ただし、弦楽器・管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽科弦楽専攻・管楽専攻の志願者が出願できる楽器に限る。</p> <p>試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である。</p> <p>ヴァイオリン課題曲</p> <p>W. A. Mozart : Violin Concerto No. 3 in G major, K. 216 より 第 1 楽章、Allegro (注) Cadenza を除く。暗譜とし、伴奏なし。</p> <p>邦楽課題曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三味線 「小鍛冶」（二世杵屋勝五郎作曲） ・箏曲（山田流） 「秋の七草」（音楽取調掛作） ・箏曲（生田流） 「春の曲」（吉沢検校作曲）一＝壺越（D） ・尺八（琴古流・都山流）共通 「六段の調」（八橋検校作曲） ・邦楽囃子 「五郎時致」（三升屋二三治作詞、十代目杵屋六左衛門作曲） (注) 四拍子の中より一つを選択する。 ・能楽囃子 笛 「中ノ舞」 小鼓「羽衣 クセ」 大鼓「羽衣 クセ」 太鼓「鶴亀 キリ」 ・雅楽 平調「越天楽」 (注) 管楽器の中より一つを選択する。 <p>※上記いずれかの楽器で受験した場合は、副科ピアノを受験する必要はない。</p>

3. ピアノ新曲

受験者区分	試験内容及び課題曲等
作曲科	初見奏

4. 和声

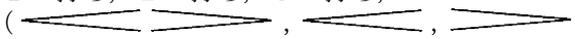
受験者 区分	試験内容及び課題曲等
指揮 科 ・ 楽 理 科	<p>指揮科及び楽理科志願者のみに課す。 試験時間は1時間30分。 与えられた数字付低音によるバス及びソプラノ声部に、それぞれ四声体の和声を作る。 指揮科課題、楽理科課題とも三和音の基本形と転回形のみ。転調は含まない。</p> <p>【例題】</p> <p>1) 次の数字付き低音によるバス課題を四声体で実施しなさい。</p>  <p>2) 次のソプラノ課題を四声体で実施し、可能であればバス声部の下に和音数字（5, 6など）を書きなさい。</p> 

試験内容及び試験曲

別科入学者選抜試験は、本表「試験内容及び試験曲」に記載された内容についてのみ行う。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
声 楽	ソプラノ (S) アルト (A) (メゾソプラを含む) テノール (T) バス (B) (バリトンを含む)	自由曲1曲を演奏する。(オペラ、オラトリオのアリアは原調。) 暗譜のこと。 (注) 1. 伴奏楽譜は各自提出しなければならない。 2. 演奏する曲は学部声楽科課題曲と同じものでも差しつかえない。 3. 演奏時間は4分以内とする。 4. 伴奏者は本学で用意する。
	ピアノ (P f)	次の11曲から1曲を選択し、その第1楽章と終楽章を用意すること。ただし、第21番を選択した者は、第1楽章とロンドを、また第30番を選択した者は、第1楽章と第2楽章を用意すること。 Beethoven: ピアノソナタ ・第2番 イ長調 作品2-2 ・第3番 ハ長調 作品2-3 ・第4番 変ホ長調 作品7 ・第6番 ヘ長調 作品10-2 ・第7番 ニ長調 作品10-3 ・第11番 変ロ長調 作品22 ・第16番 ト長調 作品31-1 ・第18番 変ホ長調 作品31-3 ・第21番 ハ長調 作品53「ワルトシュタイン」 ・第26番 変ホ長調 作品81a ・第30番 ホ長調 作品109 I) 演奏はすべて暗譜とする。 II) 繰り返しは省略すること。 III) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。
器 楽	オルガン (Org)	自由曲 (注) 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の頁を参照すること。当日、時間の都合により一部省略させることがある。
	ヴァイオラ (Va)	(A) 音階 ヘ短調(音階、分散和音、分散3度、半音階、3度の重音)を演奏すること。 ※学部入試第1回試験の音階課題(イ)(ロ)を参照のこと。 (B) C. Stamitz: Viola Concerto No.1 ニ長調(D major)より第1楽章 Allegro(カデンツァは除く) ※Henle版を使用 (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。 (A)(B)の順で演奏すること。
	チェロ (Vc)	次のうち、任意の1曲を選んで演奏すること。 (A) J. Haydn: Concerto C major 第1楽章(楽譜は何版を使ってもよい。) Cadenzaは除く。 (B) C. Saint-Saëns: Concerto A minor Op.33 第1楽章 (C) E. Lalo: Concerto D minor 第1楽章(初めから117小節 Lentoまで) (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	コントラバス (Cb)	自由曲 (注) 暗譜とし、伴奏無しとする。場合により一部を省略させることがある。
	ハープ (Hp)	自由曲 (注) 暗譜とする。場合により一部を省略させることがある。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
	<p>◎管楽器共通注意事項 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。 ※時間の都合により、演奏を途中でカットする場合がある。 (1) 音階 各調の中より当日指定する。木管楽器、金管楽器とも学部試験内容に準じる。ただし、オーボエには音階を課さない。 (2) 課題曲 ただし伴奏は無しとする。 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。</p>	
器 管	フルート (F l)	J. Ibert : Pièce pour flûte seule
	オーボエ (O b)	(1) F. Gillet : Studies for the advanced teaching of the oboe no. 1 & no.2 両番号から、演奏箇所は当日指定する。テンポは♩=100以上とする。 (2) W. A. Mozart : Konzert für Oboe und Orchester C-Dur KV 314 (Bärenreiter 版) 第3楽章 暗譜のこと。ピアノ伴奏の省略について、36小節目から49小節目に飛ぶ、135小節目から147小節目に飛ぶ。 (3) オーケストラ・スタディ ≪Orchester Probespiel by Miller / Liebermann≫ (Peters版) より G. Rossini : Die Seidene Leiter
	クラリネット (C l)	C. M. v. Weber : Konzert Nr.1 f-moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ベールマン・カデンツァを含む)
	ファゴット (F g)	C. M. v. Weber : Concerto for Bassoon 第2, 3楽章 (何版にても可)
	サクソフォーン (S x)	J. Ibert : Concertino da Camera (Leduc版)
楽 金	ホルン (H r)	課題曲 W. A. Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.2 Es-Dur K.417より 第1楽章 (版指定なし) 演奏箇所は当日指定する。
	トランペット (T p)	(1) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より 長音階P.65~P.80, 短音階P.81 第70~81番 上記の中より当日指定する。 (注) B♭ Trumpetを使用のこと。 (2) H. Tomasi : Concerto 全楽章より当日指定する。 (注) C Trumpetを使用のこと。
管		<p>◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン, ユーフォニアム共通課題 E.Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music版) より下記の部分</p>  <p>第7ポジションまで演奏すること。(ユーフォニアムはトロンボーンの演奏に準ずる。) (注) 暗譜とする。</p>
	テナー・トロンボーン (T T b)	(1) 共通課題 (2) Brad Edwards (著、出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.5, P.6 のNo.1.9, 1.10, 1.11, 1.12 (3) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.14, 15, 18, 21, 26, 32, 34, 35, 40, 42 (注) (2) (3) の演奏箇所は当日指定する。リピートは不要。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器 管 楽	<p>バス・トロンボーン (B T b)</p>	<p>(1) 共通課題 (2) Brad Edwards (著、出版) : 「Lip Slur Melodies」 A melodic approach to building tone and technique with lip slurs より P.5, P.6 のNo.1.9, 1.10, 1.11, 1.12 (3) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より No.11, (17), (19), 25, 28, (31), (37), 42, (43), 46 (注) (2) (3) の演奏箇所は当日指定する。 (3) の () の曲は1オクターブ下げて演奏すること。他は記譜通り。 リピートは不要。</p>
	<p>ユーフォニアム (E u p h)</p>	<p>(1) 共通課題 (2) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.48~57より当日指定する。リピートは不要。 (3) J.Horowitz : Euphonium Concerto (Novello)より第1楽章</p>
	<p>チューバ (T u)</p>	<p>R. Vaughan Williams : Concerto for Bass Tuba and orchestra</p>
打	<p>楽 器 (P c)</p>	<p>(1) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, ロール ( 等) (2) 音階 (鍵盤打楽器による) (3) Collection Drum Solos (Ludwig Music版, 又はLudwig Masters版) よりP.4~P.19の中から当日指定する。 (4) 小太鼓またはマリンパによる自由曲 (5) 音感テスト (注) 小太鼓は, 各自持参すること。</p>

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
邦	能 楽 (囃子を除く)	<p>シテ方 (観世流及び宝生流) 謡曲 「網之段」 (桜川) 仕舞 「春日龍神」</p> <p>ワキ方 (下掛宝生流) 謡曲 「網之段」 (桜川) 仕舞 「蟻通」</p> <p>狂言方 (和泉流) 謡曲 「大原木」 小舞 「海道下り」</p> <p>(注) 1. 受験者は黒紋付, 袴, 白足袋着用のこと。</p>
	能 楽 囃 子	<p>下記の中から1つを自由選択。 (イ) 笛 (一噌流) 「男舞」 (三段) (ロ) 小鼓 (幸流) 「経正 (政)」 キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「敦盛」 クセ (ニ) 太鼓 (観世流) 「杜若」 キリ (昔男のヨリ)</p> <p>(注) 1. 笛以外の楽器は, 地謡の流儀 (観世流, 宝生流のいずれか) を曲目提出用紙に記入すること。 2. 受験者は黒紋付, 袴, 白足袋着用のこと。</p>